

鹿児島カップ2019
火山めぐり外洋ヨットレース
帆走指示書
(Sailing Instructions;SI)

鹿児島カップ2019火山めぐり外洋ヨットレース
レース委員会

[DP]は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量をもって失格より軽減できることを意味する。

[SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。本大会では1点加点の得点ペナルティーを適用する。これはRRS 63.1とA5を変更している。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

[NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これはRRS 60.1(a)を変更している。

1. 適用規則

(1) 2017～2020RRSに定義された規則が適用される。

夜間、及び視界制限状態の海上では、RRS第2章の規則に代わって、海上衝突予防法が適用される。[DP]

(2) IRC 2019規則（但しIRC規則13.7、22.4は適用されない）。

(3) OSR 2018～2019 [DP]

(4) 本大会の公示（以下NoR）、帆走指示書（以下SI）[DP]

但し、NoR、SIの間で矛盾が生じた場合はSIが優先される。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部レース委員会室前に設置された公式掲示板に掲示される。

3. SIの変更

(1) SIの変更は、当該日の6：30までに公式掲示板に掲示される。

(2) 海上におけるSIの変更は、音声1声と共にL旗を掲揚した本部船から口頭で行われる。

4. 日程

7月12日（金） 13：00～17：00 受付・インスペクション（KMS）
17：30～艇長会議および開会式（KMS）

7月13日（土） 第1レース 鹿児島湾内インショアコース（コースNo.1）
8：55 予告信号（全クラス）
14：00 タイムリミット（全クラス）
第2レース ディスタンスコース110NM（コースNo.2）
18：55 予告信号（Aクラス）

7月14日（日） 第2レース ディスタンスコース55NM（コースNo.3）
8：55 予告信号（B、Cクラス）

7月15日（月祝） 14：00 第2レースタイムリミット（全クラス）
18：30 表彰式・閉会式・さよならパーティー

*全てのレースはレース委員会の裁量に委ねられる。[NP]

5. 出艇申告・乗員の追加 [SP]

(1) 出艇申告及び乗員の追加は所定の様式でレース委員会 (KMS 内) に提出されなければならない。

(2) シリーズにおける乗員の追加は次の時間内に提出されなければならない。

7月12日(金) 13:00から17:00 (全クラス)

7月13日(土) 6:00から7:00 (全クラス)

7月14日(日) 6:30から7:00 (B、Cクラス)

(3) 各レース艇の出艇申告は、次の時間内に提出しなければならない。

7月12日(金) 13:00から17:00 (全クラス)

7月13日(土) 6:30から7:00 (全クラス)

7月14日(日) 6:30から7:00 (B、Cクラス)

6. 本部船に掲げるクラス旗

本部船に掲げるクラス旗は、Aクラスは桃色旗、Bクラスは白色旗、Cクラスは緑色旗、オープンクラスは黄色旗、を使用する。

7. レースコース

(1) No.1 鹿児島湾内インショアコースのコースは次のとおりとする。沖小島の西方に位置するマーク(ピンクの円柱ブイ)を左に見て回航し、フィニッシュはオレンジ色の円柱ブイを右に見てフィニッシュする。尚、予告信号以前に本部船へ数字旗1を掲揚する。

スタート・フィニッシュエリアは木材港沖(図-2)

コースはS-1-F(図-1)

(2) No.2 ディスタンスコース110NMのコースは次のとおりとし、各マークを左に見て回航し、フィニッシュはピンクの円柱ブイを右に見てフィニッシュする。尚、予告信号以前に本部船に数字旗2を掲揚する。

コースはS-硫黄島-竹島-F(図-3)

スタートエリアは平川沖(瀬々串港沖)。(図-5)

フィニッシュエリアは浜平川港沖(平川ヨットハーバー)(図-5)

(3) No.3 ディスタンスコース55NMのコースは次のとおりとし、神瀬浮標を左に見て回航し、フィニッシュはピンクの円柱ブイを右に見てフィニッシュする。尚、予告信号以前に本部船へ数字旗3を掲揚する。

コースはS-神瀬浮標-F(図-4)

スタートエリアは平川沖(瀬々串港沖)。(図-5)

フィニッシュエリアは浜平川港沖(平川ヨットハーバー)(図-5)

8. マーク

マークは、オレンジ色の円柱ブイ及びピンク色の円柱ブイ、硫黄島、竹島、神瀬浮標である。

9. レース参加艇の識別 [DP][NP]

- (1) レースに参加する艇は、配布された識別番号（ゼッケン番号）をバウから 1.5m までの間のライフラインに両舷に装着しなければならない。なお、艇の識別は「セールナンバーまたは識別番号」とする。
- (2) レースに参加する艇は、国際信号旗 C 旗をバックステーに掲げなければならない。

10. スタート

- (1) レースは規則 26 を用いてスタートさせる。
- (2) スタート・ラインは、スターボードの端の本部船のオレンジ旗を掲げたポールと、ポートの端のオレンジ色の円柱ブイのコース側との間とする。
- (3) スタート・ラインは、全ての艇が正規のスタートをした場合、又はスタート信号後 9 分で閉鎖する。スタート信号後 9 分より後にスタートした艇は審問なしに DNS と記録される。これは規則 A 4、A 5 を変更している。
- (4) 各レースにおいての OCS 艇に対して、スタート直後に VHF74 チャンネルで該当艇を読み上げる。これはあくまでサービスであり、艇名の読み上げ順番等による不手際は救済要求の対象とはならない。[NP]

11. リコール

- (1) インディヴィジュアル・リコール
インディヴィジュアル・リコールの場合には、本部艇にて音響 1 声と共に X 旗を掲揚する。
X 旗の掲揚時間は、全リコール艇がスタート・ラインまたはそのどちらかの延長線のプレ・スタート・サイドに完全に入るまで、また規則 30.1 が適用されている場合はそれに従うまで、またはスタート信号 4 分後のいずれか早い方とする。
- (2) ゼネラル・リコール
ゼネラル・リコールの場合には、本部艇にて音響 2 声と共に第 1 代表旗を掲揚する。
ゼネラル・リコールになったクラスの新しいスタートの予告信号は、RRS 29.2 に従い、第 1 代表旗降下（音響 1 声）の 1 分後とし、これに続くクラスのスタートは順次繰り下げられる。
ゼネラル・リコール後のスタートは、RRS 30.1（I 旗規則）が適用される。

12. コース短縮と中止

- (1) コースの短縮は、本部艇または公式運営艇にて音響 2 声とともに S 旗を掲揚する。
また、サービスとして VHF 無線 74ch または携帯電話で通告する。[NP]
- (2) レースの中止は、本部艇または公式運営艇にて音響 3 声と共に N 旗あるいは N/A 旗または AP/A 旗を掲揚する。また、サービスとして VHF 無線 74ch または携帯電話で通告する。[NP]
新しいスタートを行う場合の予告信号は N 旗降下（音響 1 声）の 1 分後に発する。

13. フィニッシュ

- (1) コースNo.1 鹿児島湾内インショアコースのフィニッシュラインは、ポートの端の運営艇にオレンジ旗を掲げたポールとスターボードの端のオレンジ色の円柱ブイのコース側との間とする。
- (2) コースNo.2、No.3 ディスタンスコースのフィニッシュラインは、平川ヨットハーバー内のオレンジ旗を掲げたポール及び黄色の回転灯と、その東側の沖のピンクの円柱ブイとの間とする。
- (3) 第2レースのフィニッシュ後、レース艇はレース本部携帯電話にフィニッシュ時刻を報告しなければならない。[SP]

14. 得点方法

- (1) 各艇の所要時間にTCCを乗じて修正時間を算出する。修正時間の小さい方を上位とし、順位に合せて得点を付与する（修正時間が同値の場合TCCの低い艇を上位とする）
- (2) 得点に対する係数（N）は次の通りとする。
鹿児島湾内インショアレース； X1 ディスタンスレース； X2
RRS付則A2「シリーズの得点」の定めにかかわる得点の除外を行わない。
- (3) レーティング
A、BクラスはIRCのレーティングを採用する。
C、オープンクラスのレーティングはレース委員会が定めたレーティングを用いる。
- (4) 総合順位は、各レースの得点を合計し、順位を決定する。
得点が同点の場合は、ディスタンスレースの順位が上位の艇を上位とする。

15. タイムリミット

- (1) コースNo.1 鹿児島湾内インショアレースのタイムリミットは全クラス13日（土）14：00とする。
タイムリミットまでにフィニッシュしなかった艇は「DNF」と記録される。
この項は、RRS35とA4、A5を変更している。
- (2) コースNo.2、3のディスタンスレースのタイムリミットは、A、B、Cクラスとも15日（月祝）14：00とする。

16. レース艇の義務[DP] [SP]

- (1) 出艇申告書を提出し、スタートしなかった艇またはリタイアした艇は、その旨をレース本部に最も早い機会に連絡しなければならない。
- (2) 海上においてレースが中止になった場合には、帰港後直ちに、レース本部に帰着報告をしなければならない。ただし、夜間においてはレース本部へ電話での報告をもって可とする。
- (3) 上記（1）の連絡および（2）の報告は、当該艇の艇長が行い、第三者に伝言を託してはならない。
- (4) レース中、艇は航路上の船舶、レース艇でない他の船舶及び物体と衝突を避ける為にエンジンまたはその他の推進方法を使うことができる。ただし、艇がそのレースで明らかに有利を得ない場合に限る。
（RRS42.3（i）を変更している。）
- (5) 16.（4）に基づきエンジンまたはその他の推進方法を使用した場合には、レース終了後速やかにレース委員会に推進方法報告書を提出しなければならない。（RRS42.3（i）を変更している。）
- (6) 事故報告

人員の負傷、落水、重大な船体マストなどの損傷を伴う、衝突、座礁、損傷などがあつた場合には、救済の要求の有無に関わらず、当該艇の責任者は出来るだけ速やかに事故報告書をレース本部まで提出すること。

17. 失格に代わる罰則

- (1) RRS 第2章以外の規則違反に対して、DP の記載が無い規則違反に対しても、プロテスト委員会はその裁量において、失格より軽減することができる。(RRE 64.1 の変更)
- (2) OCS艇には5%のタイムペナルティを適用する。

18. 抗議(救済の要求)

- (1) 抗議(救済の要求)はRRS61 (RRS62) に従い行われなければならない。
- (2) 抗議(救済の要求)は、所定の抗議書に必要事項を記入し、
コースNo.2, 3 ディスタンスレースでは最終艇フィニッシュ後90分までにプロテスト委員会(KMS内)に提出されなければならない。なお最終艇が日没後にフィニッシュした場合は、翌日の日出後、4時間以内にプロテスト委員会(KMS内)に提出されなければならない。
コースNo.1 鹿児島湾内インショアレースは各クラス最終艇フィニッシュ後90分までにプロテスト委員会に抗議書が提出されなければならない。(RRS61.1(a)の変更)
- (3) レース委員会、テクニカル委員会またはプロテスト委員会による抗議は、公式掲示板に掲示される。
(RRS61.1(b)の変更)
- (4) 抗議に関わる事項は抗議締切時刻後1時間以内に公式掲示板により通告される。
- (5) 抗議の当事者ならびに証人等は、指定された日時に審問室の前で待機していなければならない。
- (6) シリーズ・レース最終日における審問再開の要求は、所定の抗議書に必要事項を記入し、次の時刻までにレース委員会に提出されなければならない。
 - (a) 要求する当事者が最終日の前日に判決を通告された場合には、最終日の抗議締切時刻とする。
 - (b) 要求する当事者が最終日に判決を通告された場合には、その判決の通告30分後の時刻とする。
(RRS66の変更)

19. 乗員及びエントリー人数制限 [NP] [DP]

- (1) 艇長を含む乗員のエントリー人数は、20名以内とし、各レースの乗員の数はその艇の定員以内とする。
- (2) 艇長は交代できない。但し、レース委員会の許可を得た場合はこの限りではない。
- (3) クルーの交代はエントリーされた乗員相互間でできる。なお、出艇申告後のクルーの交代は、レース委員会へ乗員変更届を定められた時間内に提出しなければならない。

20. 本大会の成立

本大会はいずれか1つのレースが成立すれば成立する。

21. 夜間(公式日出及び日没)

本大会の公式日出及び日没時刻は、次のとおりとする。

7月13日(土)	日出	5:22	日没	19:25
7月14日(日)	日出	5:22	日没	19:25

7月15日（月祝） 日出 5：23 日没 19：24

22. 安全規定

- (1) 全てのレースにおいて離岸から着岸までライフジャケットを着用しなければならない（RRS 40 の変更）。
[NP][SP]
- (2) 全てのレースにおいて海象に応じライフハーネスを着用し、テザーおよびジャックラインを装着しなければならない。[NP][DP]

23. 緊急救助態勢に入る時間

各レースにおいて、レース終了後2時間を経過しても、大会本部に連絡のない艇については、参加申込書に記載された連絡先に通知し、協議の上鹿児島海上保安部に捜索の要請を行うことがある。

24. 運営艇

本部船・運営艇は鹿児島クルージングヨットクラブバージ旗を掲揚する。

25. 上架の制限 [NP][DP]

- (1) すべての艇は、最初に予定されるレース当日の8時00分以前に海上に浮かんでいなければならない、その後は大会期間中上架してはならない。ただしレース委員会の許可を得た場合はこの限りでない。

26. 無線通信 [NP][DP]

- (1) VHF無線74chはレース委員会がレース運営に使用する。緊急の場合及びレース委員会との連絡を除き、すべての艇はレース中に音声やデータを送信してはならず、かつすべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。ただし、トラッキングシステム、SNS通信は許される。競技者全員が受信可能な情報の受信はRRS-41に該当しないものとする。
- (2) レースに参加する艇にはレース委員会から各艇より申告された携帯電話番号に安全確認の連絡をする場合がある。
- (3) ロールコールはコースNo.2、No.3のディスタンスレースで行う。
コースNo.2では硫黄島港入港標（赤色）N30°46'41" E130°16'44"を方位340°に見た位置の時刻、またフィニッシュのおおよそ1時間前、レース本部携帯電話に連絡しなければならない。
コースNo.3では神瀬浮標回航後、またフィニッシュのおおよそ1時間前、レース本部携帯電話に連絡しなければならない。
なお電話通信ができない場合は、通信可能な位置に入り次第速やかにレース本部の携帯電話に連絡しなければならない。

27. 責任の否認

競技者は自分自身の責任で参加する。RRS4[レースをすることの決定]参照。

主催団体は大会前後を含めた大会期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

28. 広 告 [NP][DP]

WS 広告規定 20.3 に従った広告は認める。

29. 肖像権

選手は本大会に参加するにあたり、大会期間中の選手または装備に関する動画、写真、撮影映像またはその製版について、対価を求める事なく主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

30. 賞

(1) 総合成績

全クラス

優 勝 カップ・賞状・副賞

2・3位まで 賞状・副賞

(2) その他 特定順位に特別賞

31. レースオフィサー

NRO 宇都 光伸

32. レース委員会

レース委員長 勝田 哲英

副委員長 辻 順一 鶴村 佳洋 田中 秀洋

委 員 松尾 博文 重信 隆彰 西郷 進平

出之口隼人 上村 洋介 伊地知 俊昭

市来 孝夫 坂元 善行

鹿児島国際大学ヨット部

鹿児島商業高等学校ヨット部

錦江湾高等学校ヨット部

33. プロテスト委員会

プロテスト委員長 榛葉 克也

副委員長 野元 健一郎

委 員 平川 暁

34. テクニカル委員会

テクニカル委員長 上山 教夫

副委員長 田原 達也

委 員 剥岩 政次

35. その他

レースにおける安全支援無線局（国際VHF局74ch）

かごしまヨット（74ch）

第十管区海上保安本部 118

鹿児島海上保安部 099-222-6680

レース本部携帯電話 090-6292-4970